



2019 02月21日 14:30-18:30

場所：JAIST(北陸先端科学技術大学院大学)
金沢駅前オフィス ポルテ金沢9階

私たちの多くは、親しい友人や仲間、家族に囲まれて毎日を過ごしています。人とのつながりが「消えたり」しない安心感があるのが社会です。しかし、高齢化と過疎化、社会の流動性の高まりは、私たちの社会を変えつつあり、「無縁社会」が話題になる時代です。どこに帰属するのか分からない社会、失踪したくなる社会、失踪が抵抗なく受け入れられる社会、失踪は社会にとってどんな意味を持つのか。私たちに迫る『失踪の社会学』を今回はテーマにします。失踪から社会を診てきた中森 弘樹さんが講演し、失踪することの意味や失踪と社会や人のつながりについて、北陸3大学（富山・金沢・北陸先端大の研究者らとともに議論します。

この研究会は、北陸観光研究ネットワークのメンバーを優先しておりますが、メンバー以外の方の参加も可能です。下記までお問い合わせください。

今回は社会性を持つ私たちの社会から離脱する「失踪」がテーマですので、研究者以外の関心のある方にも建設的な議論に参加して頂けます。

【お申し込み】：北陸先端科学技術大学院大学 敷田麻実
[Mail:shikida.Asami@jaist.ac.jp](mailto:shikida.Asami@jaist.ac.jp)



JAIST 敷田研究室 研究セミナー 第07回「失踪の社会学を学ぶ」
富山大学・金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学 交流ゼミ
北陸観光研究ネットワークセミナー

13：00-14：30 富山大学・金沢大学・北陸先端科学技術大学院大学 交流ゼミ

敬称略

【開会挨拶】 14：30－14：35 （以降が研究会です）
敷田麻実（北陸先端科学技術大学院大学）

【参加者自己紹介】 14：35－15：00

【解題】 15：00－15：15
「社会学は何を研究するのか【仮】」 菊地直樹 （金沢大学）

【セッション1：講演】 15：15－16：30
「失踪する失踪の社会学」
中森 弘樹 （京都大学総合人間学部）

休憩 16：30－16：45

【セッション2：ディスカッション】 16：45－18：00
司会 坂村圭 （北陸先端科学技術大学院大学）

【クロージング】 18：00－18：30（総括）終了後、学生同士で懇談
高橋満彦（富山大学）

■ 中森 弘樹 京都大学総合人間学部 非常勤講師

日本学術振興会特別研究員（PD）を経て、現在は京都大学・立命館大学・京都造形芸術大学非常勤講師、龍谷大学犯罪学研究センター嘱託研究員。NPO法人日本行方不明者捜索・地域安全支援協会理事。専門は社会病理学、社会問題研究。

■ 敷田麻実 北陸先端科学技術大学院大学 知識マネジメント領域 教授

石川県水産課勤務の後、金沢工業大学環境システム工学科教授、北海道大学観光学高等研究センター教授を経て、2016年から北陸先端科学技術大学院大学知識マネジメント領域教授。専門はエコツーリズムと地域マネジメント。

■ 高橋満彦 富山大学人間発達科学部准教授

富山県環境審議会委員野生動物に関する法律を研究。著作「野生動物法とは：：人と自然の多様な関係性を託されて」
趣味は、野鳥観察、山歩きと山菜取り、浪曲鑑賞

■ 菊地直樹 金沢大学人間社会研究域附属 地域政策研究センター 准教授

総合地球環境学研究所 客員准教授、環境社会学、地域マネジメント論 博士（社会学）

■ 坂村圭 北陸先端科学技術大学院大学 知識マネジメント領域 助教

2017年から北陸先端科学技術大学院大学知識マネジメント領域助教。専門は都市計画とコミュニティデザイン。自然資源と社会のつながりをもとに地域活性化に向けた研究とまちづくり活動を実践している。